

## テュートリアル課題 林檎園より

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2021-07-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="https://doi.org/10.20780/00032912">https://doi.org/10.20780/00032912</a>

2017年度 Segment. 6

課 題 No.1

課題名：林檎園より

課題作成者：精神医学  
神経内科学  
画像診断学・核医学

澤村 実紀  
北川 一夫  
坂井 修二



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

## シート1

宮入 一葉（みやいり ひと）さんは、笑顔のたえない73歳の女性です。昔から花や果物が好きで、世話好きな性格もあり、無農薬林檎園もほとんど一人で切り盛りし、70歳を間近にしたころにそれを長男に譲りました。今は、孫の三葉（みつは）さんに宛てて花や果物の絵手紙を描いて送ったり、趣味のスケッチなどをして、のんびりと毎日を送っています。晴れた日の午後、無心に林檎園を歩いていると、つややかな林檎の香しさが、日々のいやなことも忘れさせてくれます。

素敵な林檎の木をみつけたので、少しスケッチでもしてみようと思ったところで、「あら、色鉛筆はどこにやったかしら・・・!? それと・・・画用紙ももってきてなかったわね・・・!」いつも散歩ではもっているはずの持ち物を、今日ももってきていないことに気づきました。最初は何をもち忘れたかさえ思い出せませんでした。このところ宮入一葉さんは物忘れが多くなっています。そういえば、2～3年前から、家族から注意をされることが増えたようです。

シート2

物忘れが続き、一葉（ひとは）さんはちょっと心配になり、病院に行くことにしました。病院ではまず、面接を受け、お酒を多く飲んでいないか、頭をぶつけるようなことはなかったか、などいくつかの質問をされました。いずれも心当たりはありませんでした。一葉さんは、区民健康診断では、採血、心電図、血圧測定などを受けて、いつも問題なしといわれていたのので、そのことも医師に話しました。

シート3

医師の診察時の神経学的所見にはとくに異常は認めませんでした。「検査をしましょう。まずはいくつか質問をさせてください。随分ばかばかしい質問も混じっていますが、物忘れの検査のためなのでお願いします」医師はこう断って、一葉（ひとは）さんに、質問形式の検査をしました。

「頭の写真を撮る検査もやっておきましょう」医師は、一葉さんに、頭部MRI検査と脳血流SPECT検査を予約しました。

シート4

一葉（ひとは）さんは検査の結果説明を受け、担当医師から「アルツハイマー型認知症」と病名を告げられました。そして、この後の治療と、生活上のアドバイスや福祉制度について聞きました。スケッチも、林檎園での散歩や四季の絵手紙を描くのも、よいことだと、医師は話してくれました。

## シート5

あれから10年。一葉（ひとは）さんは特別擁護老人ホームで暮らしています。食事、トイレ、着替えなど、日常生活動作の多くに介護が必要な一葉さんにとって、介護の専門スタッフはなくてはならない存在です。時々、家族が面会に訪れます。いつもはぼんやりと過ごしている一葉さんですが、家族が来ると元気になります。

今日は孫の三葉（みつは）さんに車椅子を押されて近くの公園に来ました。広い公園の木立のなかに車椅子をとめて木漏れ日を浴びていると、まるで林檎園の中にいるようです。「おやつにしよう。すりおろし、作ってきたの」三葉さんはすりおろし林檎を少しスプーンにのせて、一葉さんの口に含ませました。一葉さんは、目を閉じ、美味しそうに林檎を味わいながら、ゆったりと微笑みました。

「おばあちゃん、やっぱり、覚えているのね、うちの林檎」三葉さんが一葉さんに言いました。

「林檎は、育てるひとの心意気で、みんな違った香りと味わいになるって、おばあちゃん、言っていたよね」

一葉さんはまたちょっと、微笑んでいるようでした。